

令和6年(2024年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
6	3	定例	予算特別委員会	企画経営部	市立病院経営改革担当	北山議員	市立病院は築40年が経過し、劣化によるトラブルが起きる可能性が極めて高く、決めたからには決断を早くしてスピードを上げていくことが凄く大事だと考える。また、遅れば遅れるだけ建設費も高くなる。計画検討になぜ2年かかるのかと思っているが、計画をスピーディに進めることについて、どのように考えているのか。	なるべく早期に新病院を整備する必要があると考えており、スケジュールが短縮できる形で取り組んで行きたい。	答弁に同じ。	未済	答弁に同じ。
6	3	定例	予算特別委員会	企画経営部	市立病院経営改革担当	北山議員	EOI方式やデザインビルド方式で設計段階から施工業者に入ってもらって工期が短くなる。これにはメリットもデメリットもあると思うが、検討はどこまで進んでいるのか。最初の段階で決めてしまわないと効果が出てこないと考えており、すなわち用地決定と同時に整備手法も決める必要がある。	整備場所や整備手法については、来年度に着手予定の基本計画の中で明らかにしていきたいと考えている。	答弁に同じ。	未済	答弁に同じ。
6	3	定例	予算特別委員会	企画経営部	市立病院経営改革担当	北山議員	用地の決定は非常に大きい要素であり、用地を決めないと基本的な計画も立たず、工事費用も変わってくる。いつまでに土地を決めるつもりか。	建築用地の決定については、次の基本計画に入っていく段階では決定していく必要があると考えている。今年度中に1か所に絞れるかは分からないが、来年度の早期に1か所に絞り込みができるよう進めていきたい。	答弁に同じ	未済	令和5年度末で建設用地を2箇所に絞り込んだが、令和6年度の早期に1箇所に絞り込みを行いたい。
6	3	定例	本会議	企画経営部	市立病院経営改革担当	大川議員	現金預金の不足が当面続いていきそうな感じはするため、そこに対する支援も市として考える必要があり、そのあたりのとこの支援と支援するなら市側としてもモニタリングが必要だと考えているがどのように考えているのか。	市の立場としても、健全経営は最優先に取り組むべき課題である。収支見通しの中では、令和6年度から最大令和19年度まで資金不足が生じる状況である。病院事業の方でこれ以上資金不足を悪化させないことが大事だと考えている。そのため、市としては経営強化プランの進捗状況や管理者から答弁した各部門毎の数値目標をきちんと立てていく、あるいはアクションプランを立てていくことから始め、市と病院と共通の認識を持った上で、患者満足度も含めてモニタリングすることが非常に大事だと考えている。	答弁に同じ。	未済	市としても、政策アドバイザーから意見徴取を行った上で、市立病院の経営強化プランのモニタリング体制を構築し、資金不足を悪化させないように努める。

令和6年(2024年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
6	3	定例	本会議	都市安全部	公園河川課	三宅議員	混在斜面地対策について、市が市所有部分の対策工事を先行して行うことで民間所有地部分の対策工事がやりづらくなると思われる。県に対して同時期に急傾斜地崩壊対策事業を行って貰えるよう要望する。	答弁不要	これまでも同時期に県急傾斜地崩壊対策事業を行って貰えるよう協議と要望を進めたが、現在市内3箇所です事業を進めており、更に阪神北県民局管内で数箇所の新規事業化の順番待ちがあることや、地元の合意形成や同意取得に時間を要することから、同時期に行うことが困難な状況である。	済	
6	3	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	三宅議員	待機児童対策など学校施設の活用について、教育総合会議でしっかり議論してほしい。	国から発出された放課後児童対策パッケージや各種通知を踏まえ、待機児童の解消に向けて、学校施設の活用など、3月の総合教育会議において、議題とする。	答弁に同じ (答弁は企画経営部より)	済	
6	3	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	大島淡議員	支援員補助員の人員が不足している。処遇を改善しなければ人員が集まらないのでは。他市の事例も研究をして早急に対応してほしい。	答弁不要	補助員の報酬単価については検討を進めるが、他自治体とのコスト比較も必要。	未済	補助員の報酬単価については検討していく。
6	3	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	大島淡議員	夏休みの受け入れについて研究をしてほしい。	夏休みのニーズは高い。夏休みの居場所については早急に検討する必要があると認識している。	夏休みのニーズについては高いと認識しているが、人員と場所の確保が大きな課題となっている。	未済	夏休みの受け入れも併せ、待機児童対策について検討する。

令和6年(2024年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
6	3	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	田中議員	放課後児童クラブの待機児童対策として、ファミリーサポートセンター事業が使いやすいものとなるように取り組むべき。 事業実施主体への補助も含めて検討すべき。	過去に補助事業を行ったが、利用者が少なかったため、現在では補助事業はなくなっている。 内容について精査を行い、待機となっている方に対して、何かしらの手立てを講じるよう、至急検討を行っていく。	答弁に同じ	未済	ファミリーサポートセンター事業利用補助制度の再開について検討する。
6	3	定例	本会議	子ども未来部	青少年課	寺本淡議員	待機の家庭へ案内しているファミサポ事業と児童館の利用について、児童館が放課後児童クラブの代わりとなるよう、カリキュラムを考えられないか。 また、ファミサポ事業の利用補助を考えて欲しい。	定員拡充を第一に進めているが、今後児童の多様な居場所としての環境整備に努めていく必要がある。 利用可能な施設との連携方法などについて調査研究していく。 ファミサポ利用補助については、過去に実施していた実績や経緯なども踏まえ、検討する必要があると考える。	答弁に同じ	未済	ファミリーサポートセンター事業利用補助制度の再開について検討する。
6	3	定例	予算特別委員会	子ども未来部	青少年課	北野議員	空き教室等を活用した児童の居場所づくりや放課後子ども教室の充実を。	答弁不要	あらゆる方策を講じて待機児童対策など放課後の児童の居場所づくりに取り組む。	未済	あらゆる方策を講じて待機児童対策など放課後の児童の居場所づくりに取り組む。
6	3	定例	予算特別委員会	子ども未来部	青少年課	みとみ議員	放課後児童クラブの待機児童対策として、ファミリーサポートセンター事業の拡充を。 宝塚第一小学校の保護者が、保護者による自主保育について検討している。 市として何か力になれないか。	課の担当者に相談はあった。 今後も相談があれば対応していく。	答弁に同じ	未済	現状保護者からの相談はないが、今後相談があれば対応する。

令和6年(2024年) 3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
6	3	定例	予算特別委員会	子ども未来部	青少年課	川口議員	放課後児童クラブについて、何よりも安心して過ごせる場所の確保を優先してほしい。	答弁不要	あらゆる方策を講じて待機児童対策など放課後の児童の居場所づくりに取り組む。	未済	あらゆる方策を講じて待機児童対策など放課後の児童の居場所づくりに取り組む。
6	3	定例	予算特別委員会	子ども未来部	青少年課	村松議員	待機児童対策について、地域児童育成会の定員を80人にすることに拘らず柔軟に考えるべき。	答弁不要	あらゆる方策を講じて待機児童対策に取り組む。	済	80人を超えて受け入れている実績はあるが、あらゆる方策について検討し、待機児童対策に取り組む。